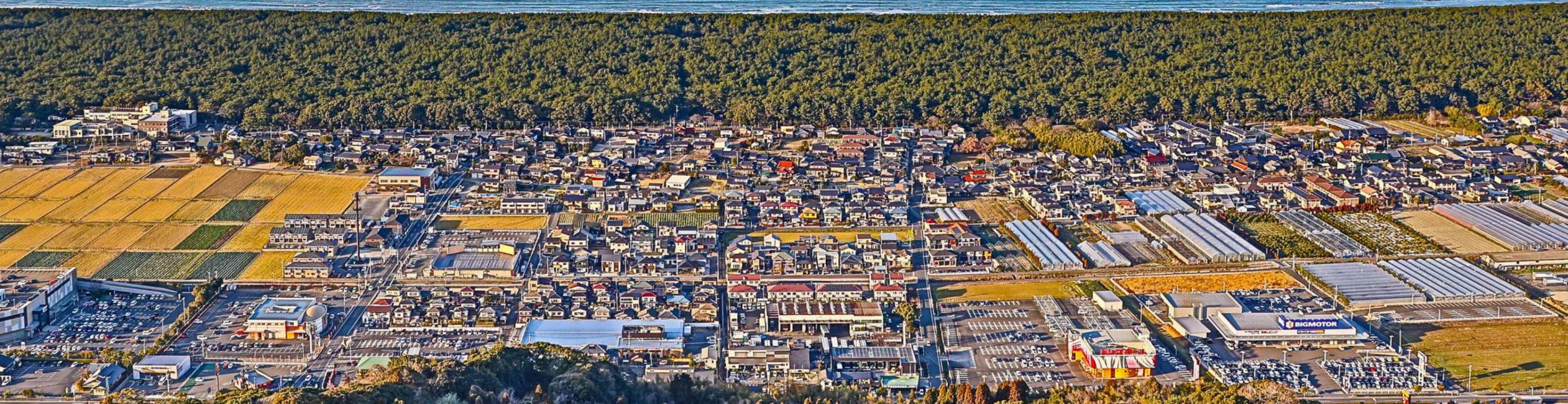


Karatsu Social Good Program



目次



- p.1 — Social Good Program とは
- p.2 — 3つのプログラムのご紹介
- p.3 — ビーチクリーンアップの概要と
~ —
- p.4 — スケジュール案のご紹介
- p.5 — 松葉かき体験の概要と
~ —
- p.6 — スケジュール案のご紹介
- p.7 — ビーチクリーンアップの概要と
~ —
- p.8 — スケジュール案のご紹介
- p.9 — プログラムの運営体制
- p.10 — Learn with Global Leaders
~ —
- p.11 — 参加留学生について
- p.12 — 参加した生徒の感想
- p.13 — Why LbE?
~ —
- p.16
- p.17 — お問い合わせ先

Social Good Programは

『社会に対して良い影響を与えるプログラム』を指します。

2030年までに持続可能な社会づくりを目指す動きが広がるなか、個人のみならず国や企業にも社会に良いインパクトを与える商品やサービスを提案することが必要とされています。



日本人が起こしたソーシャルグッドの取り組みとして株式会社マザーハウスはバンングラディッシュなどの途上国の素材や職人の生活支援をしつつ世界に通用するモノ作りを推進。

助けるのではなく、可能性を引き出すというアプローチは多くの支援者を惹きつけています。



3つのプログラムのご紹介

松葉かき体験



09:00～15:00

参加者は松葉かき体験を通じて自身と自然の繋がりを再認識し、自然を守ろうとする責務をより強く感じ、責任ある行動の選択ができるようになることを目的としています。

ビーチクリーンアップ



09:00～14:15

参加者はビーチクリーンアップに参加することで、プラスチック汚染のような世界的な問題に対して、自身がこれから地元でどのように行動し、良い影響を与えることができるかを学ぶことを目的としています。

唐津

フィールドワーク



10:00～17:15

参加者はグローバルリーダーからの視野を参考にしながら唐津の観光を活性化させる方法や取り組みを検討し、それを参加者同士で共有します。

各プログラムには以下のアクティビティもあわせて実施します。

- ① オリエンテーション・アイスブレイク
- ② 世界探検（グローバルリーダーによる母国紹介）
- ③ プログラムの振り返り活動

最大受け入れ人数：～120名まで 料金：お問い合わせください
実施日数：半日～3日間で実施が可能です

プログラムの実施会場は
ホテル&リゾート佐賀 唐津が
おすすめです！



ビーチクリーンアップ

地球規模課題であるプラスチックゴミの海洋汚染について考え、自分の身の回りでどのような行動を取るべきかを学びます。

プログラムは以下のCan do Listを達成することを目標に設定されています。

受講者は

- ① ゴミが自然環境に与える影響を認識することができる。
- ② 海岸の様々なゴミの原因を特定することができる。
- ③ コミュニティを良くする奉仕活動を行うことができる。
- ④ 廃棄物からアップサイクル製品をデザインし作り出すことができる。
- ⑤ 留学生（Global Leaders）とのコミュニケーションとコラボレーションを進んで行うことができる。

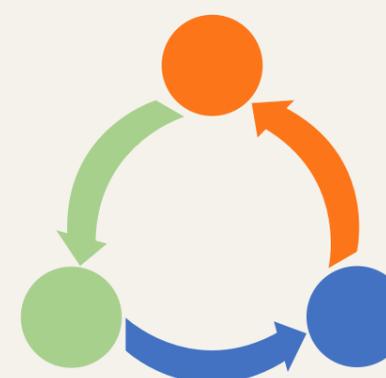


参加者は自分の手でプログラム参加証を作り上げます。

私の日常生活のどこにプラスチックがあり、それがどのように世界に影響を与えているのだろうか？



具体的なスケジュール案



オリエンテーション
アイスブレイク

1

世界探検
Explore the World

2

私たちのゴミは世界にどんな
影響を及ぼしている？

3

ビーチクリーンアップ
説明と実践

4

アップサイクル
活動

5

振り返りと
まとめ活動

6

1 オリエンテーション・アイスブレイク

ファシリテーターがスケジュールやプログラムの目的を紹介し、グローバルリーダーの国当てクイズや英語を使ったアイスブレイクをおこないます。

プログラムのスタートは、参加者とグローバルリーダーの協働作業に不安を感じることなく、徐々に自信をつけていけるように配慮されています。

2

2 世界探検 Explore the World

各グループのグローバルリーダーが母国の文化や生活スタイルについてプレゼンテーションを行います。

グローバルリーダーがアクティブディスカッションの手法を用いて、参加者からグローバルリーダーへの質問を引き出します。

3 私たちのゴミは世界にどんな影響を及ぼしている？

自分が生み出すゴミの量、特にプラスチックゴミがエコシステムに与える影響を確認する活動やTED-Edのビデオ視聴を通じてプラスチックの購入や使用について自分の行動を見つめ直します。

これらのアクティビティはスキャフォールディングという「足場かけ」のアプローチで作成されています。

4 ビーチクリーンアップ説明と実践

ビーチクリーンをする理由やガイドラインの紹介後、徒歩でビーチまで移動して実際にクリーンアップ活動を行います。拾うゴミはマイクロプラスチックです。

効果的かつ安全なビーチクリーンアップのための説明を受けます。海岸で集めたゴミから作った参加証の例を見ることで、参加者はどのような参加証を作るかイメージをすることができます。

5

5 アップサイクル活動

拾ったゴミの中から、有害なゴミを選んで自分の手で参加証を作り上げます。作成後、専用のクラウドにアップロードすることで事後学校内で全員の参加証を閲覧することができます。

ゴミ拾いを通じて、参加者は自分たちと世界的な問題を身近な地域で結びつける機会になります。また、STEAM教育における「Art」のスキルアップにも繋がります。

6

6 振り返りとまとめ活動

自分たちのゴミがどのように海に影響を与えるか、についてプログラム中に学んだことを振り返り、グループ内で学びの共有を行います。

プログラムの振り返りとまとめから、自分たちが今からできることを考えます。

松葉かき体験

地域のNPOの指導のもと、
虹の松原を舞台として自然と人間の
あるべき共生社会について考え
自然に対してのステュアードシップ育成
をはかります。

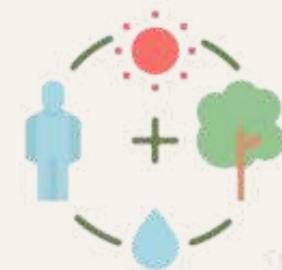
プログラムは以下のCan do Listを達成することを
目標に設定されています。

受講者は

- ① 虹の松原の歴史的・文化的特徴を挙げるができる。
- ② 松葉かき活動に参加することの価値を認識することができる。
- ③ コミュニティを良くする奉仕活動を行うことができる。
- ④ 自分たちの学習体験を記録するためのビデオを作成することができる。
- ⑤ 留学生（Global Leaders）とのコミュニケーションと
コラボレーションを進んで行うことができる。

このプログラムの収益の一部は
LbE Japanより唐津市にある
NPO法人唐津環境防災推進機構
「KANNE」に寄付されます。

自然との共生に欠かせないものは？



具体的なスケジュール案

オリエンテーション
アイスブレイク

1

世界探検
Explore the World

2

バランスの取れた
生態系はなぜ大切？

3

松葉かき体験の
説明と実践

4

松葉かき体験
の
紹介動画作成

5

振り返りと
まとめ活動

6

1 オリエンテーション・アイスブレイク

ファシリテーターがスケジュールやプログラムの目的を紹介し、グローバルリーダーの国当てクイズや英語を使ったアイスブレイクをおこないます。

プログラムのスタートは、参加者とグローバルリーダーの協働作業に不安を感じることなく、徐々に自信をつけていけるように配慮されています。

2 世界探検 Explore the World

各グループのグローバルリーダーが母国の文化や生活スタイルについてプレゼンテーションを行います。

グローバルリーダーがアクティブディスカッションの手法を用いて、参加者からグローバルリーダーへの質問を引き出します。

3 バランスの取れた生態系はなぜ大切？

虹の松原の専門家 NPO法人KANNEから、虹の松原の歴史的・文化的特徴について説明を行います。

説明だけでなく、理解度を深めるためにICTを活用したチーム対抗のクイズに挑戦することで、ミスコンセプションを無くします。

4 松葉かき体験の説明と実践

参加者は虹の松原の現状を把握した上で、松葉かき体験に挑戦します。活動中の様子は写真や動画に収めます。

この活動はグループメンバーの協働活動になるためチームビルディングのスキル向上にも繋がります。

5 松葉かき体験の紹介動画作成

グループ内で、松葉かき体験の動画を作成します。この活動では参加者全員に特定の役割を与えて、全員が活動的かつ主体的に行動するように設定されています。

作成した動画は専用のクラウドにアップロードするので事後学習などにご活用ください。

6 振り返りとまとめ活動

自分たちのゴミがどのように海に影響を与えるか、についてプログラム中に学んだことを振り返り、グループ内で学びの共有を行います。

プログラムの振り返りとまとめから、自分たちが今からできることを考えます。

唐津フィールドワーク

留学生らと協働して
唐津の観光資源を探すフィールドワークに
出発し、インバウンド観光客を誘致する
プロポーザルを作成します。

外国人観光客は
どんな点に魅力を感じるのだろうか？

プログラムは以下のCan do Listを達成することを
目標に設定されています。

受講者は

- ① 唐津の歴史的、文化的背景を挙げるができる。
- ② インバウンド観光を促進するために、インバウンド観光客のニーズを見つけることの価値を認識することができる。
- ③ インバウンド観光を促進するために、唐津の歴史的・文化的な特徴を挙げ、調査することができる。
- ④ 留学生（Global Leaders）とのコミュニケーションとコラボレーションを進んで行うことができる。



具体的なスケジュール案

オリエンテーション
アイスブレイク

1

世界探検
Explore the World

2

唐津の魅力発見！

3

唐津
フィールドワーク

4

唐津PR for
訪日外国人

5

振り返りと
まとめ活動

6

1 オリエンテーション・アイスブレイク

ファシリテーターがスケジュールやプログラムの目的を紹介し、グローバルリーダーの国当てクイズや英語を使ったアイスブレイクをおこないます。

プログラムのスタートは、参加者とグローバルリーダーの協働作業に不安を感じることなく、徐々に自信をつけていけるように配慮されています。

2

2 世界探検 Explore the World

各グループのグローバルリーダーが母国の文化や生活スタイルについてプレゼンテーションを行います。

グローバルリーダーがアクティブディスカッションの手法を用いて、参加者からグローバルリーダーへの質問を引き出します。

3

3 唐津の魅力発見！

唐津の主要な観光スポットを調べ、訪日外国人のニーズを把握するための質問を考え、グローバルリーダーに実際に質問します。

この活動を通じて、クリティカルシンキング・課題解決力の向上。そしてグローバルリーダーとの英語でのコミュニケーションを体験することができます。

4

4 唐津フィールドワーク

調べた唐津の観光スポットを実際に訪れて、グローバルリーダーとの対話を通じて訪日外国人へのアピールポイントを調査しに行きます。タブレットを活用し、アピールポイントを写真や動画に収めます。

フィールドワークは、参加者が自主的に調査することを目的としています。活動中にデータを収集することで、訪日外国人向けに唐津をアピールできるポイントをより深く理解するためのリアルな知識と証拠を得ることができます。

5

5 唐津PR for 訪日外国人

グループ内で訪日外国人に向けて唐津をPRするスライドやビデオの作成に取り組みます。また、各グループの作品はLbE JapanのHP上にアップロードします。

この活動では参加者全員に特定の役割を与えて、全員が活動的かつ主体的に行動するように設定されています。

6

6 振り返りとまとめ活動

自分たちのゴミがどのように海に影響を与えるか、についてプログラム中に学んだことを振り返り、グループ内で学びの共有を行います。

プログラムの振り返りとまとめから、自分たちが今からできることを考えます。

プログラムの 運営体制

① 発話する機会を増やす少人数制グループ

各グループは6～10名の参加者と1名の留学生で構成されます。

リーダーは英語を第二言語として学ぶ参加者達に分かりやすい英語を話します。

② 整ったサポート体制

グループに帯同するリーダーとは別にグループを横断してサポートするサポーターと運営・進行を務めるファシリテーター。そして日本語でサポートをするLbEスタッフがプログラムの活動を手厚くサポートします。

③ タブレットを利用したICT学習

各グループごとに1台のタブレットを用意しています。学習活動を行う会場にはWi-fiが常設されており参加者の学びをサポートする環境が整っています。

Learn with Global Leaders



LbE GLOBAL LEADERS
Creating a brighter future

どんな人会える？



私たちのプログラムには欠かせないグローバルリーダーとは100カ国以上の国から日本にやってきた留学生たちを指します。

グローバルリーダーは日本に在住する外国人でプログラムの様々な場面で参加者の学びをサポートします。

LbE Japanは個人の年齢、性別、人種、ジェンダー、宗教的信条に関係なく

グローバルリーダーを採用しています。

そのため、参加者は多様な人々と交流し、学ぶことができます。

Learn with Global Leaders



国や文化の異なるもの同士と地域課題を学ぶことにより
多様な視野とグローバルマインドセットを養う



参加した留学生の感想

環境保全活動は初めての経験で、ビーチで集めたものをもとにしたアート作品作りやプレゼンテーションは、クリエイティビティを養い環境に対する意識向上の素晴らしいアイデアだと感じました。
このプログラムは参加者が英語をコミュニケーションのツールとして使うことへの自信に繋がるものだと感じています。



Beach Clean Up

体験で得た感情をリーダーに共有

「その体験から何を学びましたか？」

自己のプラスチックとの付き合い方を振り返る

「今後どんな行動を起こしていきたいですか？」

参加者自身でこれからの行動を決める

Learn from Community



地域の人との交流から課題に触れ
留学生と共に課題解決について考える協働学習



2022年 参加者の感想（一部抜粋）

最初はゴミ拾いがあまり楽しみではなかったけど、やってみるとだんだん綺麗になっていくのが気持ち良くてとても楽しかったです。少しの時間だったけど、留学生リーダーの方ともお話ししながらゴミ拾いをできてよかったです。

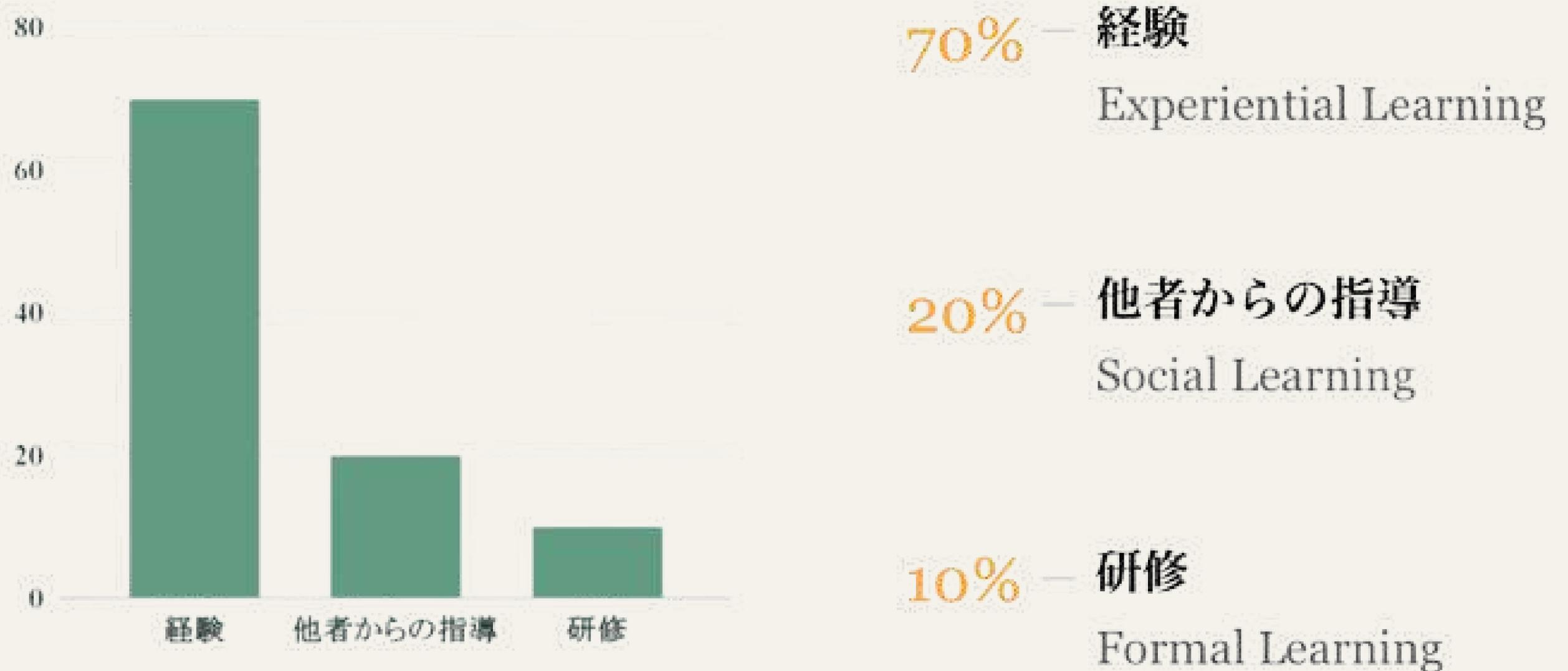
英語も学べ、唐津のことも学べました。また、世界には環境問題以外の様々な問題があり、一人一人が意識し、協力すればその問題も解決していくことができるのだ。ということも学べ、その協力には何かしらの言語が必要になってくることも知り、改めて英語の重要さを知りました。



Why LbE?

– 実体験こそ参加者が成長するチャンス –

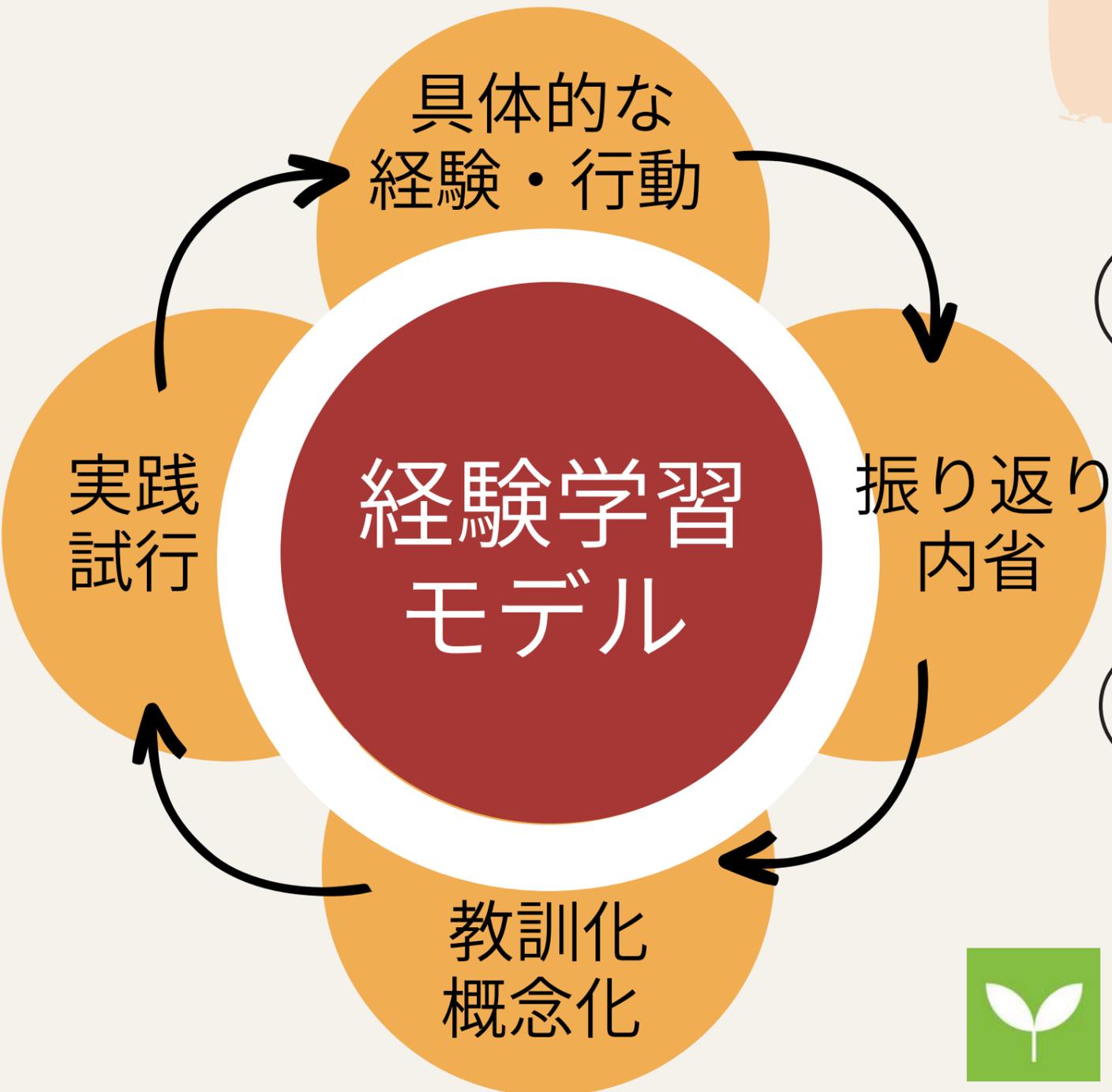
The 70 - 20 - 10 Framework



Why LbE?

– 実体験こそ参加者が成長するチャンス –

参加者が実体験を経たあとの
チャンスを見逃さない2つの成長支援



1

プログラムファシリテーターが、参加者の学習活動を段階定期に提案し最終的な学びのゴールを目指します。(Eliciting)

2

各グループにつくりリーダーが参加者の振り返り活動をサポートします。経験学習モデルに基づき、参加者に対して適切な声かけでリフレクションの支援を行います。(Coaching)



LbE はLearn by Experienceを意味します。

コルプの経験学習モデル

Why LbE? – 異文化受容能力は生きる力 –

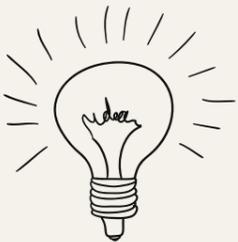
お困りではないでしょうか？

- ▶ 子どもの能力をテストだけで測るのはフェアではないと感じる
- ▶ 一方的な講義形式の教育に危機感を感じている
- ▶ 日本人の英語スピーキング力は世界と比較して低すぎるのではと思う
- ▶ 未来を担う世代の子どもたちはもっと海外に視野を向けるべきである



Why LbE?

- 異文化受容能力は生きる力 -

本プログラムで獲得を目指す **3** つの力 

プログラムを通じて参加者が得るもの

- 自分自身が会話のツールとして英語を使う際の姿勢や能力に気づくことができる
- 創作活動において自分の考えや想いを表現することができる
- 現在世界で起きていることや歴史についてより興味を持つようになる

Global
Competence

English
Competence

21st Century
Skills

お問い合わせ先



運営会社：株式会社LbE Japan



〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門 1-8-8 (本社)



電話番号：092-791-6581



FAX番号：092-791-6582



メールアドレス：ohana@lbejapan.co.jp



担当者：北 薫子 (KITA KAORUKO)

- ✓ お問い合わせの際は、①実施希望日 ②実施人数 ③希望日数をメールもしくはお電話でお伝えください。料金は参加人数や希望日数によって異なります。お気軽にお問い合わせください。
- ✓ プログラムの実施会場や宿泊（ホテル&リゾート佐賀唐津など）の空き状況は、直接会場にご確認ください。